

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|----|------------|
| ○事業所名 | はあと f + j 中央 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年1月1日 | | 2026年1月31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 2名 | (回答者数) 2名 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年1月1日 | | 2026年1月31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6名 | (回答者数) 6名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 2月 20日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 活動スペースの確保・事業所内の構造化。 | 運動や活動を行う部屋、勉強や作業を行う部屋、クールダウンスペースを分けて活用している。 | 児童の年齢・成長に合わせて事業所内の物品や配置を変更する。 |
| 2 | 個別対応の実施。 | 現状利用児童が少ないため、個別対応が可能となっている。 | 今後児童の人数が大きく増えることはないため、引き続きマンツーマンでの支援を実施していく。 |
| 3 | 保育園との交流及び連携の実施。 | 利用児童2名ともに敷地内の保育園を利用しており、交流・連携しやすくなっている。発達段階に合わせ、保育園の保育士との打合せを実施し、支援方法を検討している。 | 引き続き児童の情報共有をしつつ、利用継続される場合は児童発達支援→放課後等デイサービスへの移行をスムーズに行う。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--------------------------------------|---|
| 1 | 保護者同士の交流の機会がなく、家族等も参加できる研修会等の情報提供が少ない。 | 現状保護者会等を開催する時間の捻出が難しく、開催できていない。 | 保護者が参観できるイベントを企画し、その際に保護者同士の交流を深めてもらう。研修会の案内については、事業所玄関の掲示板に掲示・送迎時等に保護者にチラシ送付を行う。 |
| 2 | 非常時におけるマニュアル・訓練の実施結果が不明瞭。 | 保護者への周知が足りていない。(緊急時の対応等は契約時に説明を実施済) | 訓練結果等を掲載し、保護者にも周知する。 |
| 3 | SNSやHP等での活動報告が少ない。 | HP等への写真掲載NGの児童もいるため、個別に活動写真を送ることが多い。 | 事業所のInstagramがあるので、写真掲載OKの児童を撮影し、活動の様子をPRする。 |